



イカル  
(山崎聖天)  
4班 西木 豊 撮影

発行日 令和5年11月10日  
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)  
 発行責任者 脇田 幸三  
 連絡先 大山崎町歴史資料館内  
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289  
 URL <https://www.kyoto-ofg.org/>

\*\*\*\*\*

開館30周年、そして第31回企画展について

**大山崎町歴史資料館 館長 福島克彦**



おかげさまで、大山崎町歴史資料館は今秋11月で開館30周年を迎えます。平成5年(1993)11月3日に開館して以来、町民の皆様のご理解をたまわり、長く当町の歴史を発信し続けることができました。規模も体制もコンパクトな当館ではありますが、町内外の文化財所蔵者の協力のもと、指定文化財の公開や、新しい文化財の知見を見出すことができ、改めて当町の歴史の豊かさを実感しています。今後も文化財の調査、保護に邁進し、その成果を生涯学習という場で還元してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

さて、今秋に開催する第31回企画展は「記憶のなかの西観音寺-建立から廃仏毀釈まで-」と題して、西観音寺について展示します。これは現在のサントリー蒸溜所に、かつてあった天台宗寺院のことです。行基開基と伝えられ、平安時代後期に天王山西中腹にあった慈悲尾山寺が前身といわれています。その後、平安時代末期に前述した蒸溜所のある信善谷へ寺域が移転していきます。有力公家の後援を受けた宝積寺に対して、西観音寺は本山である山門(比叡山延暦寺)との関係を維持しつつ、大山崎や河内国の人々の信仰を集めていきます。

鎌倉時代の寺域には油を搾る器械が複数あった

と推定され、大山崎の油販売とも積極的に関わっていました。さらに宝積寺とともに、天神八王子社(現在の白玉手祭来酒解神社)や離宮八幡宮の祭祀にも社僧を派遣し、祈祷行事などを手助けしていました。江戸時代後期には『都名所図会』『撰津名所図会』の双方に境内図を載せ、参詣地としてよく知られた存在となりました。西国街道から本堂へ一直線の参詣道を設けた点に、当境内の特徴がありましたが、自前で巨大な参詣道を築いて開放的な景観を施すのは異例です。

ところが、明治維新时期に吹き荒れた廃仏毀釈の影響を受け、西観音寺は突然その歴史の幕を閉じてしまいます。新政府は神道を国教化する方針をとったので、時勢を読んだ住職たちが突然神官へと鞍替えし、寺から椎尾神社へと転換します。これには、当然檀家たちは反発し、不要となった仏像や仏具をどうするか、大問題となりました。現在宝積寺に残っている鎌倉時代後期の作品たる閻魔王坐像も、この時移管されたものです。この経過は、ぜひ展示を観ていただきたいと思います。

まだ文化財という言葉がない時代、仏像や仏具はあくまでも信仰の対象に過ぎませんでした。宗派の違いを越えて、これらを地元で残そうとした当時の人々は、何に突き動かされ彫刻の保全にあたったのでしょうか。京都に文化庁がやってきた本年度、ぜひ皆さんとともに考えていきたいと思っています。

9月～10月の活動実績			
<p><b>1. 主なガイド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月21日(土) 秋の天王山ウォーキング 2023 90名</li> <li>・10月14日(土)から 秋の定点ガイド</li> </ul> <p><b>2. 会の行事など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月21日(木) 島本町現地学習会 44名</li> <li>・9月25日(月) あちこち学習山歩 67 御土居巡り 13名</li> <li>・10月23日(月) あちこち学習山歩 68 西観音寺他 10名</li> <li>・10月26日(木) 向日市現地学習会 30名</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>活動予定</b></p> <p><b>1. 主なガイド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月26日(日)まで 秋の定点ガイド 全班</li> <li>・11月2日(木) 第二大山崎小学校4年生 全班</li> <li>・11月11日(土) 長岡京市友岡区自治会体育部 1班</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月18日(土) 円明寺ヶ丘団地自治会連合会 2班</li> <li>・11月22日(水) SKS社友会ウォーキング部 3班</li> <li>・11月23日(木) 乙訓医療生協西京支部 3班</li> <li>・11月25日(土) 阪急沿線観光あるきガイドツアー 3班</li> <li>・11月26日(日) 高槻教育文化センター 3班</li> <li>・12月14日(木) レイカディア大学城郭探訪OB会 2班</li> </ul> <p><b>2. 行事予定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月27日(月) あちこち学習山歩 69 大坂冬・夏の陣跡</li> <li>・11月30日(木) 高槻市今城塚古墳等現地学習会</li> <li>・12月7日(木) バス研修 (福知山城、丹波篠山方面)</li> </ul> <p>○大山崎町歴史資料館 第31回企画展 11月26日(日)まで 「記憶の中の西観音寺 -建立から廃仏毀釈まで-」</p> <p>○アサヒグループ大山崎山荘美術館 12月16日(土)～2024年2月25日(日) 藤田嗣治 心の旅路をたどる一手紙と手しごとを手がかりに</p>		

9-10月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館		出前ガイド		定点ガイド		合計	
9-10月	0件	0人	1件	90人	51件	109人	0件	0人	121件	330人	173件	529人
5年度累計	17件	274人	2件	221人	194件	367人	1件	16人	382件	1,107人	596件	1,985人

## 「島本町」現地学習会に参加して

9月21日(木) 曇り空で散策には絶好の日に、江戸時代以前には一部が『大山崎荘』と繋がっていた『島本町』 現地学習会に参加しました。4班に分かれて、島本町立歴史文化資料館→史跡桜井駅跡→八幡神社→粟辻神社→乗馬地跡→水無瀬神宮(燈心席)のコースで、メインガイドを3班10期生、サポートガイドを先輩会員が担当されました。

冒頭、脇田会長から、会員52名中44名の高い参加率であること、ガイド担当は下見を3~4回して臨んでいるとの挨拶がありました。

島本町立歴史文化資料館では館長から大甕、中將棋、後鳥羽上皇宸翰御手印置文等展示品の説明があり、吉田初三郎作品を一時大山崎町歴史資料館で保管するなど、両館の連携活動の一端を知りました。また、唱歌にも歌われた桜井駅跡は英国公使ハリー・パークスが楠木正成の顕彰碑を建立し、有名になった事実を知りました。

最後に水無瀬神宮では宮司から、皇室の菊の紋章は後鳥羽上皇が始まりであること、拝殿の上皇似絵はセラミック製であること等の話を伺いました。茶室燈心席にはにじり口は無く、縁起の良い松竹梅の用材を用い、様々な植物を組み合わせた格天井の桃山時代の貴族茶室で、侘び寂びの待庵との違いが解りました。

島本町の歴史を学ぶことで、大山崎町の特徴を更に理解できた一日でした。(4班 須田幹夫 記)



## ~わたしのふるさと~



くまモン・肥後の熊本がふるさとです。私が育った町から程近いところに3つの城郭、神社があります。熊本城は城造りの大名・加藤清正が築城して、細川家が江戸時代の2百有余年54万石城主でした。菊池神社は室町時代に菊池一族がこの地域を治め、約400年続いた九州最大の豪族でした。鞠智城は天智天皇時代に白村江の戦いで唐・新羅軍に敗れ、国を守るため築城した古代山城でした。

スポーツ界では、野球は熊本県人の多くが巨人ファン(阪神ではない)です。プロ野球の神様と言われた川上哲治の生誕の地です。巨人では不動の4番打者で、9連覇した名監督でした。熊本には2人の野球の神様がいます。もう1人はヤクルトの村上・村神様と言われ、野球名門高の九州学院出身です。もっともっと自慢することがありますが、紙面の都合でこの程度に。是非観光でお越しください。

“くまもとはよかところばい、あそびにきなっせ!!”  
(3班 野尻裕三 記)

四国八十八ヶ所、八幡熊谷寺・・・九番法輪寺の近くに私のふるさとがあります。

背後に阿讃山脈、南方眼下には四国三郎吉野川、その山間部に農村地帯があり、ゆるい傾斜地となっており大小の溜池が多くあります。ここへ私が疎開してきた地が、徳島市の北西約20Kmにある阿波市土成(どなり)町。

我が家の付近には、遍路道があり「四国遍路道指南」の案内により遍路巡礼者が多く旅していました。我が家にも巡礼者が立ち寄り、「南無大師遍照金剛」を唱えます。地元民衆は巡礼者を支援する教えから一握りの米、芋で接待し遍路と同じ功德を得ます。接待と言っても少年の私は恐々としたものです。

空海は88の煩惱消滅のため四国を巡錫、1番札所霊山寺を建立します。この時、聖武天皇の勅願により行基が創建したとされます。

蜂須賀家政は、特定寺を配置し阿波九城と連携し、阿波藩の軍事的な防衛機能もしていたとされています。

(4班 山本復一 記)

## 西観音寺跡(椎尾神社)の現地見学に参加

9月9日(土)、集合時間に行くと全員がふるさとガイドの会の面々。現地に行く前に歴史資料館2階の展示室で西観音寺に関する展示物の説明。このイベントの素晴らしい所は学芸員資格のある福島館長が直々に説明される所だ。

資料館から出て、西に進み、大阪府島本町にある西観音寺跡に向かう途中も随所(宝寺への参道口、離宮八幡宮、関大明神)で説明を受けた。

西観音寺は慶長年間に衰退して、明治時代になって廃仏毀釈により廃寺になっているが、江戸時代の「撰津名所図絵」では西国街道に面し、現在のJR踏切あたりから本堂まで一直線で行ける伽藍配置になっていた。また、山崎蒸溜所受付あたりは広場になっており山崎の合戦では羽柴秀吉の本陣が置かれたとも言われ

ている。

椎尾神社からは対岸の河内方面が見え、当時は大坂からの参拝者も多かった。

これらを配布資料とともにご説明

いただいた福島館長と、ご準備いただいた白石さん、ありがとうございました。

現在、山崎蒸溜所は創業100年を控え、お化粧直し中。11月には見学も再開され、各種のイベントも計画されているようで楽しみだ。

(1班 村中厚司 記)

